

(1)

大分県報

40年5月号

【第50号】

発行所

編集発行人

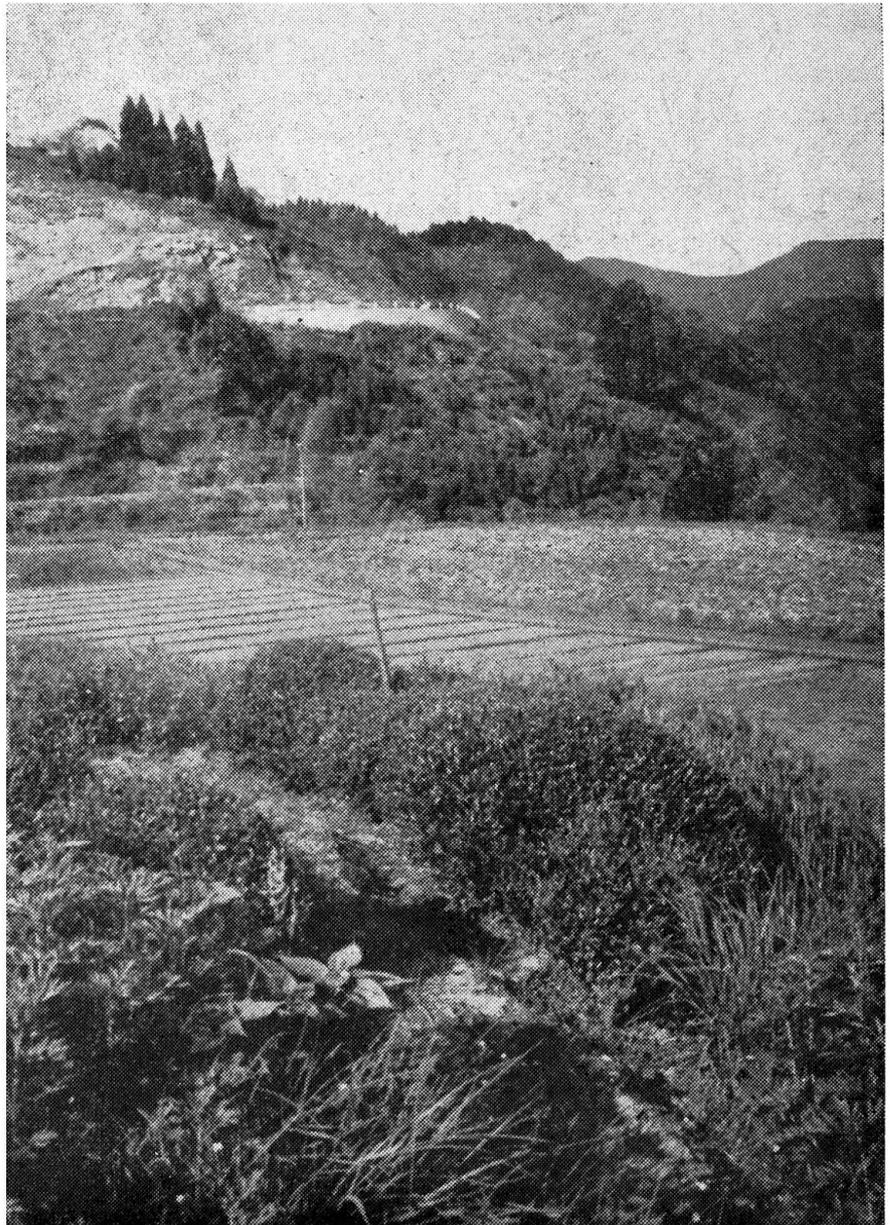
大分県・日田・中津江村

川津一人

「5月」

「写真」

付替県道荒瀬部落上部附近を望む



これまでの経緯

第四六回通常国会で、林業基本法が可決され、経済成長のヒズミとなつた林業を是正し、他産業従事者と均衡した生活を営みうるよ

う、今後の林業が進むべき新たな道が示された。

本県においては、三十九年七月十六日林業基本法と構造改善事業の説明会が開られた。本村においては初年度に、事業の地域指定を

9,400万円の事業 林道開設は六路線 林業構造改善事業

林業構造

一〇二年度から三ヶ年で

三十九年七月に施行された林業基本法による「林業構造改善事業」は、児塔村政の公約でもあつたので、本村は最初に事業地域の指定を受けたことは既報のとおりである。

その後、この「林業構造改善事業」の具体的な計画を樹立して、県、国の査定を受け、本事業の総事業費九千四百万円が決定したので四月三〇日に、第一回の林業構造改善事業協議会が開かれ、同事業の計画内容の説明や協議がなされた。

この林業構造改善事業は本年度（四〇年度）から始められ、四二年度では総事業が完成する三ヶ年にわたつての事業である。

初年度に三割、二年度に四割、三年度に三割といつた事業費の割合で事業計画がなされており、この林業構造改善事業の実施と成果は、村当局のみでは、とうてい完成されず村民みなさんの理解と協力が機待されている。

受けようと申請書を提出、同月二五日に開られた大分県森林審議会では、初年度に事業をやるうとする町村が三村出たが、同審議会

で本匠村が外され、本村と直川村が、本県の林業構造改善事業を初年度に行こなう町村と決定。

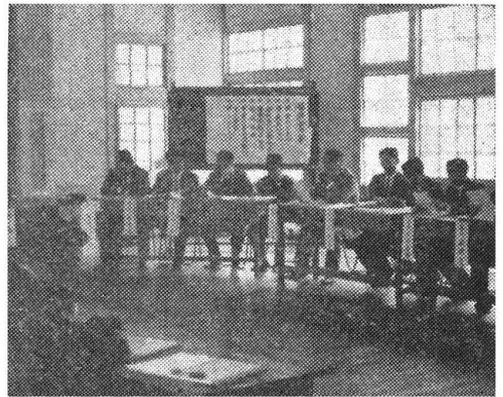
三十九年九月には、本村林業構造改善事業の協議会条例が公布され、同構造改善事務局設置規則も公布された。同年十月一日付で協議会の事務局が設置され、同時に委員も任命され、本村の林業構造改善事業に対する体制が整つた。

同年十一月十二、十三日の二日間、東京で指定市町

実施計画書の主な内容

▼基本構想▲

本村の林業形態は、農業との副業的経営の林家が多く、林業就業人口も農業の動向と関連して複雑である。林産物の需給は、主幹県道の改修と林道開設ならびに延長によつて、ますます流通性が活発となる見通しである。が現在の生産量は



〔写真説明〕

4月30日に開かれた初会のもよう。

て、県を通じ林野庁に要望し、その査定の結果、林道四路線が落され、八千五百万円の総事業費予算の内示があつた。

同月末本村は三たび九千三百万円の事業計画書を作成し、さいさんにわたり要望を重さねた。そうした努力の結果、本年四月二十二日、事業費総額九千四百万円で決定したと県からの内示があつた。

村の研究会が開催され、本村は総事業費二億八千万円の計画要望書を提出した。翌年四〇年三月、担当職員九州プロック林業構造改善事業の説明会が福岡市の二日間、東京で指定市町

で開かれ、その時大分県二村は九千万円ほどの予算が付けられている。ということが確実にはないが予想されたので、再び総事業費一億二千万円の事業計画（林道は九路線）を作成し

四月三〇日、本村の林業構造改善事業協議会の初会が開かれ、九千四百万円の事業を決定。五月十二日に画書が提出されるに至つたのである。

年間平均三千八百立平、年間成長量五万九千立平と推計され、造林面積も年平均百六ヘクタールが行こなわれ、人工造林と育林勢が盛んであるかたわら、現在の林道網は利用対象区域に対して林道密度は低く、こうした本村の林業経営の実態

態からも、林業生産性の向上と、林地利用の合理化を図るためには、林業生産の基盤である林道開設を主体として別表の事業を行うものである。

保有総面積六四八八haのうち二〇ha以下の小規模林家は一四六三haで全体の総面積の二二、五%を占めるにとどまり、零細林家が多いこの小規模林家のうちの一〇七戸の経営基盤を合理化

▼経営基盤の充実▲
本村の林家総戸数は五一七戸で、その内二〇ha以下の小規模農家は四六七戸と全体の九〇、三%を占め、林野内に早朝育成林業区域

を設ける。

入会林野については、権利関係を明確化するために二八haの測量調査を行い、分収造林地十四haの促進をして林地の高度利用を促す。

▼ 生産基盤の整備 ▲

本村の林野面積や立地条件、林業経営の実態は、基本構想でものべたとおりであつて、現在の林道網のみでは、生産手段あるいは林地利用の価値を充分にあげることがとぼしいので、全体計画九九一〇mのうちから、本事業により六路線八九〇〇mを延長して、未開発林地の開発を図る。

▼ 資本装備の高度化 ▲

本村の特殊林産物には、「しいたけ」「わさび」がある。この林産物は、農家の所得として重要な位置を占めている。よつて「しいたけ」乾燥施設を五ヶ所

本村の素材生産の状況に

直接森林所有者による生産手段はごくわずかで、森林組合および素材業者、製材業者が直接伐木、運材するため、トラック、集材器、自動鋸、索道、発動機等、それぞれ保有しているが、森林組合が取扱っているのは、全体の一五%にしかすぎず、この契機に組合の事業拡充計画をなし、これに必要な施設および機械を購入する。

▼ 協業化の推進 ▲

以上のような事業を行うため、協業組織を確立して有機的な事業を推進する。

に設け、協業

体をもつて生産を伸ばし、品質の向上を図る。また特認事業として四ヶ所に「わさび」沢を設けて、生産を拡大する。

▼ 協業化の推進 ▲

以上のような事業を行うため、協業組織を確立して有機的な事業を推進する。



つあいきさつ 農業改良普及員 塚崎公明

臼杵農業改良普及事務所 りました。

に転勤になられた佐々木さんの後任として、未熟ですが当村に勤務することになり

以前、本耶馬溪の町役場に勤務していましたが、普及員の仕事は始めてであり

てのほどお願い致します。

林業構造改善で行なわれる3年間の総事業計画表

事業区分	種 目	事 業 の 内 容
経営基盤の充実事業	入会林野の近代化	面積測量・標識埋設・蓄積調査(28ha)
	分収造林の促進	幹旋・面積測量・林地条件調査(14ha)
生産基盤整備事業	国有林野の活用	面積測量・林地条件調査 305ha 田ノ口線1,660m宮原線1,240m 猪野々線3,000m 山口線500m 平野線1,500m 平線1,000m
	林道開設	集材装置1台トラック1台 運材装置1台機械保管倉庫1棟 チェンソー4台
資本装備の高度化事業	素材生産の近代化	乾燥用建物5棟チェンソー5台 乾燥器10基
	特殊林産物生産施設の設定	乾燥用建物5棟チェンソー5台 乾燥器10基
その他事業	早期育成林業経営の促進	造林 5 ha
	特認事業	わさび沢設置0.8ha

誠に失礼ながら、書面をもちましてあいさつ申し上げます。

福祉年金を 受けているかたは

老令、障害、母子等の福祉年金を現在受けている者は、五月中旬に、毎年提出している所得の届出をおこなつて下さい。

身体障害者 巡廻相談のお知らせ

左記の日程により、身体障害者、精神薄弱者などの巡廻診断、医学相談がおこ

ひとロコナー

人間の「いけにえ」

ある大学の教授は、「地上に超人が現われて、人間に人生をこれまでと比較にならぬほど、快適多彩なものにする魔術を教えてやると提案したと想像したまえ」と学生に語った。

「その代償として、一年に拾万の人間の生血のいけにえを要求したとする。この提案は人間どもに、どんなに憤然と拒否されることだろう。…ところが到来したのは自動車だったのだ。

「絵のような表現」

男、玄関で世論調査員に「それが僕の意見なんだ。それから女房はここにいないけれど、あいつの意見も言つてあげられるよ。僕と正対的なのが女房の意見なんだよ。」

(リーダーズ・ダイゼスト誌より転載)

法に違反した行為

田畑の無届転用

農業の所得向上が叫ばれては、田畑や採草地の基礎である田畑や採草地に、植林したり建築したりする人がふえています。

田畑や採草地を他の目的に使用するときは、その理由、目的、規模などを書いた「申請書」を農業委員会に届け出て、県知事の許可

けつして許される行為ではありません。

耕作に不便な農地やダムに關係した農地などは、無届のまま転用した人が特に目立ちます。このような無届の転用は、農地法に違反しており、罪則の適用にもなりかねません。

他の目的に使うことは、周囲の田畑や採草地の耕作や収穫に悪影響を及ぼし、農産物の生産意欲を減退させる原因にもなります。また、人間社会の通念としても、申し出て下さい。

延滞金を徴収

こん年度から

徴収します

4銭×2000円×20=16円
この場合の延滞金は一六円となります。

これまで本村で金の納入は、納期限内に必
ず納めて下さい。
「延滞金の計算方法」
は行こなわれてい
ませんでしたが、
(例) 第一期村民税二千
本年度から、納期 二六円を七月二〇日まで納
限までに村税を納
めなかつた場合、
めないもの全部に
一期村民税の納期限は六
月三〇日だから延滞期日は
延滞金を取るようになりま
した。
延滞金は納期限までに納
めなかつた税額百円につき
二〇日間、一〇〇円以下の
端数は切捨てるから税額は
二千円。一日一〇〇円に四
日四銭です。こんども税
金だから、

香典返しとして
寄附

さきに御尊父矢野安氏を
失なわれた矢野司馬太氏は
香典返しとして、本村社会
福祉協議会に金一封を寄付
された。

本紙をもつて深くお礼申
しあげます。

農協総会の

お知らせ

本村農協の通常総会が、
五月二十一日(午前九時)
に農協会議室で開かれます
議案は、四十年年度事業計
画の承認の件外九議案で、
特に村づくりに伴う事業計
画がなされています。多数
参加下さい。

なお総会終了後は、懇親
会を開催し、粗酒を差上げ
ることになっています。

養鶏の技術と管理

その六

採卵鶏の飼料の与え方

養鶏家においては、産卵の最盛期になつています。

その産卵成績をあげる目的はなんといたても飼料とその飼料の与えかたであります。現在の養鶏は科学養鶏というが、そのなかでも特に科学的に考えなければならぬのは、飼料の問題であります。

急速に産卵能力が向上している現在、産卵鶏を飼育するのに科学的な基礎のない飼料を給与したのでは、健康で生存率が高く高度の

産卵をさせるためには、科学的な裏づけをもつた、飼料でなければなりません。

養鶏家においては、産卵の最盛期になつています。その産卵成績をあげる目的はなんといたても飼料とその飼料の与えかたであります。現在の養鶏は科学養鶏というが、そのなかでも特に科学的に考えなければならぬのは、飼料の問題であります。

急速に産卵能力が向上している現在、産卵鶏を飼育するのに科学的な基礎のない飼料を給与したのでは、健康で生存率が高く高度の

産卵をさせるためには、科学的な裏づけをもつた、飼料でなければなりません。

養鶏家においては、産卵の最盛期になつています。その産卵成績をあげる目的はなんといたても飼料とその飼料の与えかたであります。現在の養鶏は科学養鶏というが、そのなかでも特に科学的に考えなければならぬのは、飼料の問題であります。

急速に産卵能力が向上している現在、産卵鶏を飼育するのに科学的な基礎のない飼料を給与したのでは、健康で生存率が高く高度の

産卵をさせるためには、科学的な裏づけをもつた、飼料でなければなりません。

養鶏家においては、産卵の最盛期になつています。その産卵成績をあげる目的はなんといたても飼料とその飼料の与えかたであります。現在の養鶏は科学養鶏というが、そのなかでも特に科学的に考えなければならぬのは、飼料の問題であります。

急速に産卵能力が向上している現在、産卵鶏を飼育するのに科学的な基礎のない飼料を給与したのでは、健康で生存率が高く高度の